

淀川区教育行政連絡会「小学校の部」議事要旨

日 時 平成 30 年 2 月 13 日 (火) 10:00~11:50

場 所 淀川区役所 5 階 504 会議室

出席者 学校長：新東三国 北中島 西三国 三国 新高 西中島 木川
十三 神津 塚本 田川 三津屋 加島

区役所：淀川区長 淀川区副区長 教育支援担当課長 保健・子育て支援担当課長
教育支援担当課長代理 教育支援担当係長 教育支援担当係員

傍 聴：0 人

- | | |
|----------|--|
| 資料 1 | 各校の「学校安心ルール」 |
| 資料 2 - 1 | H 2 9 運営の計画 区から依頼した取組の反映状況 |
| 資料 2 - 2 | 田川小取組例 |
| 資料 3 - 1 | 加算配付対象校の実施計画書（新東三国小、北中島小、新高小抜粋） |
| 資料 3 - 2 | 平成 2 9 年度 大阪市教育委員会 「校長経営戦略支援予算」
選定会議審査講評 |
| 資料 4 - 1 | 教職員の長時間勤務の解消に向けた取組等について（通知） |
| 資料 4 - 2 | 平成 2 9 年度第 2 回 淀川区教育行政連絡会で出た意見
～教職員の負担軽減に向けた検討について～ |
| 資料 4 - 3 | 平成 2 9 年度第 2 回 子ども教育会議で出た意見
～教職員の負担軽減に向けた検討について～ |
| 資料 5 | 淀川区学校協議会委員研修 委員意見まとめ |
| 資料 6 - 1 | 淀川区役所 教育支援担当 平成 3 0 年度事業予定一覧 |
| 資料 6 - 2 | 家庭児童相談員（Ⅰ）及び（Ⅱ）について |
| 資料 7 | 淀川区役所「市民の声」 |
| （参考） | 平成 2 9 年度第 2 回学校協議会委員研修資料 |
| （参考） | 平成 2 9 年度第 2 回子ども教育会議議事要旨 |

【次第】

司会：教育支援担当課長

◎区長あいさつ

◎議題

- 《1 学校安心ルールについて》
- 《2 ヨドネルの取組状況について》
- 《3 校長経営戦略支援予算にかかる取組について》
- 《4 その他》

- ・説明：区長、教育支援担当、保健・子育て支援担当
- ・各議題について意見交換

議題1 学校安心ルールについて

(区より説明)

- ・学校安心ルールについては4月からの本格運用に向けて現在試行実施されているところだが、試行の段階でどのような状況か、困っていること、こうあるべきだなどのご意見があれば、お聞きしたい。
- ・教育委員会から、可能であれば学校安心ルールをホームページにあげてほしいとの話があったので、情報提供させていただく。

(意見交換)

- ・地域性もあり、内容について一概に統一的に説明できない点が難しいので、その都度慎重に話し合うことが大切だ。ホームページに公表するにあたっては一定の整理が必要だと思う。
- ・各校で学校安心ルールの形式が違うが、どのように説明していただいているか。

⇒区より説明

大阪市のスタンダードモデルはあるが、各校で配付する学校安心ルールについては、校長が学校の実態や事情、学校協議会等でいただいた意見を考慮しながらカスタマイズできるものだと説明している。

議題2 ヨドネルの取組状況について

(区より説明)

- ・各校で非常に熱心に取り組んでいただき、感謝申しあげる。各校で様々取り組まれているが、特に調査の結果から変化が顕著であった田川小学校の取組を参考にご紹介いただきたい。
- ・今年度で大規模調査を終了し、来年度は講演を中心にやっていきたい。各校での講演会の企画実施を支援する。
- ・来年度、区からフォローしてほしいことなどがあればお聞きしたい。

(田川小学校より説明)

- ・各学期に健康チェック週間を設け、健康チェックカードと台紙を配付し、担任が集計、1週間ごとに提出するというもの。淀川区が掲げている就寝時刻までに寝ることを目標とした。
- ・毎月の学年だよりで保護者に睡眠の大切さについて、呼びかけている。
- ・取組の結果、どの学年も睡眠時間が増えてきており、睡眠についての意識ができてきたように思う。
- ・子どもが落ち着いてきて、よい傾向が出てきていると感じている。

(意見交換)

- ・来年度も今年度と同じ扱いか。

⇒区より説明

来年度も運営に関する計画に盛り込み、取組、目標、指標の設定を依頼させていただく予定。引き続き取組をお願いしたい。

- ・ヨドネルの到達点をどういうところへもっていこうとしているのか、担当者としての思いを教えてください。睡眠以外にも、朝ご飯も食べること、決まりを守ることも大事。それらすべてのうちの一つなので、大きな方向性を示してもらえると、どこに向かっていくのかが見えて動きやすい。

⇒区より説明

元々各学校での生活改善の取組において睡眠は大事だったが、各校で個別に取組むのではなく、淀川区全体として、区、学校、保護者が総がかりで取組んでいただいている。大規模調査は、それ自体が目的ではなく、啓発材料を収集する趣旨で行った。その結果出た分析を、今後どう活かし展開していくかが課題。数値的には小学校の児童について良い傾向が出てきているので、引き続き、啓発を進めていただきたい。

- ・保護者が動いてくれる方が一番効果的だと思う。
- ・寝る前に褒める、認めると睡眠に入りやすいという水野先生からの話があった。来年度は褒める、認めることを中心に取組んでいけたらと思う。
- ・淀川区の小学生はこうだ、淀川区では当たり前というように、もっと打ち出されていくべきだと思う。街をあげて、親御さんに向けてという方向性、キャンペーン的にどこに行ってもポスターがあるような環境にしていけばよいのではないかな。

⇒区より説明

「すいみんのオキテ」と銘打って、寝る時間の目標を区で掲げたりもしている。教育行政連絡会で議論のうえで作成した内容だ。その内容の周知に学校も協力いただければありがたい。直接子どもに啓発・声かけをする機会が豊富という点で、学校のご協力はヨドネルの取組に欠かせない。

区として来年度はまず、集まったデータを啓発に活かしていこうと考えているので、各学校の講演会を支援したい。再来年度以降の進め方については教育行政連絡会などで話し合い、予算を組んでいければと思う。

議題3 校長経営戦略支援予算にかかる取組について

(区より説明)

- ・今年に加算配付で実施されている学校の取組状況についてご披露いただきたい。
- ・加算配付対象校の選定にあたり、選定委員が講評をまとめているので、ご参照いただきたい。数値であげてほしい、取組の結果どうなるかというアウトカムを意識してほしいと書かれている。オリジナリティを打ち出してほしい、漢検や英検などの外部試験を活用する場合も、教育上の位置づけや必要性という視点を重要視している、コストについて精査してほしい等述べられているので、ご留意いただきたい。
- ・中学校の教育行政連絡会では、現行の校長経営戦略支援予算のシステムでは4月に申請し、予算の決定、発注までに時間がかかり、実施が3学期までずれこむため、審査自体を前年度に完結し、4月からすぐに使えるようなスケジュールにならないのかというご意見があった。

(新東三国小学校より、今年度の加算配付による取組の紹介)

- ・第2図書館が活用できていなかったため、改修し、子どもたち、教員、保護者すべてが求める学力向上に向けた放課後活動の場とすることを考えた。授業の補助だけでなく、学習について子どもたちが夢をもつことをやりたいというコンセプトで予算を要求し、獲得した。
- ・テレビ会議システムの整備は遠隔地の学校と集団で、例えばアメリカンスクールと集団で話し合ったり、合同の授業ができるもの。LANケーブルの設置工事が間もなく完了、外国との交信、被災地の子どもたちと交流させ、中学生になったときに実際に交流することを目指している。
- ・学力向上の根幹として、安全管理のための校内インターホン整備が学校創立以来初めてかなった。

(新高小学校より、今年度の加算配付による取組の紹介)

- ・安心・安全な学校を目指すため「Safety Promotion School」認証校にチャレンジしてきた。運動会を通して本気で取り組む姿勢を保護者や地域に積極的にアピールし、かなり浸透してきたようだ。3月15日には認証校として正式決定される予定。加算申請に当たっては「生活安全の取組み」をがんばる先生支援事業指定校、特別支援教育モデル研究校として、「災害安全領域の取組み」を校長経営戦略支援予算で、リソースを確保した。

(北中島小学校より、今年度の加算配付による取組の紹介)

- ・校庭の芝生広場にウッドデッキの図書館を建てたいと考え、加算配付を獲得。子どもたちが28年度の全国学力・学習状況調査によると、「読書が好きですか」に肯定的回答をしたのが49%だったことが出発点。校舎の耐震構造に問題があり、講堂の上の4階に図書室が移動したことで行けなくなったことが原因ではないかと考え、子どもたちが行きたくなる環境にすれば本を読むのではと考えた。学校経営管理センターとかなり協議し、11月頃やっと目途がたった。年度末になんとか完成、実際に活用できるのは来年度からの予定。年度末に成果を報告せねばならない。
- ・加算配付をいただけたのが初めてで、PTAも地域も期待している。今後どうやって活用していくかが課題。

(加算配付予算を獲得した各校の意見交換)

- ・加算配付の対象となる費目が限定されていて、選定を通過したのに、執行の段階になって行き詰まることがある。選定にあたって、執行段階のことも踏まえていただきたい。
- ・前年度に選定するシステムに変えるのがよいかどうかは中身によるが、変える必要があるかもしれない。その場合、前年度に組んで、校長が変わろうが、職員や学校協議会に諮り、その了解のもと4月から執行していくことになる。
- ・申請のシステムを変えるかどうかは、運営に関する計画にも関係する。
- ・新規性のある取組は認められやすいようだが、そういった施設が老朽化した場合の補修は基本予算から出さないといけない。限られた維持運営費の中で建物修繕もしなければならぬ。学校の教育活動の安定のための予算が確保されなければいけない。新しいものもよいが、現にあるものの環境整備をしたい。学校の教育活動の基本である校舎がどんどん老朽化し、十分に改修等の整備できない状況をぜひ改善してほしい。
- ・子どもたちの個人情報の問題もあるが、防犯上、校内にモニターは必須と感じており、来年度の加算配付に要求したい。

⇒区より説明

いただいた意見について、区から教育委員会に伝達する。

(来年度の加算配付に向けて、各校の検討状況)

- ・職員から聞き取り中。子どもの安心・安全のためにできることがあればやりたい。
- ・防犯カメラの設置を考えたい。
- ・命の安全、看護という面で予算を要求していたが、今年度の結果は半分以下の予算。加算配付は不確定なため、私も職員もあてにはできないというのが正直な思い。不確定な予算に重要なことを託せないのので、基本配付で必要なことをしっかり取組んでいく予定。

- ・今年度の成果、効果、課題を集約している段階なので、そのうえで考えていく。
- ・基本配付を取組のベースとし、加算配付では働き方改革につながる取組を検討。
- ・今年は次点校だった。外れた時は区役所に支援してほしい。今年是不審者の侵入が多々あり、切実な問題であるため、防犯カメラをぜひ入れたい。

⇒区より説明

外れた時のために区が予算を確保しておくのは難しい。各学校で工夫して切磋琢磨し、アイデアを出す加算枠がなくなることはないが、若干ウェイトは少なくなっているかもしれない。これまでも区でできることはバックアップしてきた。例えば教育行政連絡会でのご意見を受けて予算を組んでいくといった方向性は今後も続けたい。情報提供については教育支援担当にお気軽にお尋ねいただきたい。

- ・講堂の床面張替えについて今年認められなかったもので、引き続き申請する。十分な体育活動を行うには必須。
- ・加算配付は体育館にクライミングウォールを付けたので、その延長でロープを張るなどの体力作りのために何かやっていきたい。どんな成果をあげたか書かないといけない、それを踏まえてこういうものが欲しいと書かないといけない。夢を語るのも大事だが、自分自身で評価していくことも大切と感じている。
- ・算数以外でデジタル教科書を購入できればと考えている。
- ・学力アップの人件費にあてる。外部講師に来てもらうのが効果的と考え、区の事業もなるべく活用している。スイミング、サッカー、ソフトボールなど非常に助かっている。質の良い寝方には生活習慣の改善が欠かせない。外に読書するベンチを作るなど、運動したくない子も外に出てみる気持ちになるような取組をしたい。
- ・学習支援サポーターの拡充を図り、一人一人にもう少し手厚い支援体制ができればと思っている。安全面でモニターで指示できる体制が必要だとも感じている。プールに人口芝のスペースを設けたい。
- ・自尊心が低い子どもが多いので、気持ちを高めるために今年度から工作科の研究に取組み、図画工作の準備室の整備に加算配付をいただいている。大阪市小学校教育研究科の図画工作部とも連動するとともに教職員の資質向上も図っている。来年度に向けて現在、職員と相談中。
- ・今年度はデジタル百科事典を購入。来年度はあらゆる部屋でライン工事をして、ルーター一つ、Wi-Fi一つで何でも見られるよう先進的な環境にするか、もしくは温室を含めた実験農場を作り地域の方と勉強させることを考えている。

議題4 その他

(1) 教職員の負担軽減に向けた取組について

(区より説明)

- ・教職員の長時間勤務の解消に向けた取組等について、教委から各校あてに通知された。時間外の自動応答の電話の導入については、当区から各小中学校の教頭先生にヒアリングした内容や教育行政連絡会でいただいた議論の内容を教育委員会に投げかけていたので、一部は反映された形だ。

(意見交換)

- ・保護者向けの文書を配付するような指示はないので、来年度以降の取組かと認識。
- ・生死にかかわる場合などは、緊急の連絡先を示さなければならないだろう。

⇒区より説明

区に情報があれば提供させていただく。逆に校長先生の方で情報があれば、教えていただきたい。

(2) 学校協議会委員研修の報告について

(区より説明)

- ・1月31日、2月1日、2月3日の3日間にわたり、吉本興業と大阪市との包括協定に基づき、住みま
す芸人「職人」のお二人に校長と教頭役を依頼し、実際の学校協議会と同様のロールプレイ形式による
学校協議会委員研修を実施した。研修時にいただいたご意見についてご参考にしていただきたい。

(3) 区役所事業について

(区より説明)

- ・来年度の区役所事業について、ほとんどの事業が校長先生との議論により練り上げられた取組。来年度
は、ご要望を受けてスクールカウンセラーの配置を手厚くする。

(意見交換)

- ・子どものモチベーションを上げるために各界の専門家を呼び、放課後学習を行っている。30年度の淀
川区小学生補習充実事業として残念ながら選ばれなかったが、放課後学習の今後の新しい形態として、
31年度はぜひ支援していただけるよう要望したい。

⇒区より説明

事業対象を拡大するという要望に沿う場合、区の事業としての目標や指標を再度考え直す必要があ
るので、教えていただきたい。他の校長先生方には、どのようなお考えか一旦持ち帰ってご検討いた
だきたい。

(保健・子育て担当課長より説明)

- ・家庭児童相談員の機能強化に取り組んでいる。専門職の職員を配置しているが、来年度は、任用区分上、
業務対応範囲の広い職員を増やし、体制の充実を図る。

(意見交換)

- ・要保護児童対策地域協議会と校長会との密な連携を望む。区の子育て支援室も尽力されたい。